総務省統計局

統計調査ニュース

令和６年（2024年）９月　No.454

「統計の日」（10月18日）を迎えるに当たって

総務省大臣官房審議官（統計制度担当）　山田　幸夫

去る7月5日付けで総務省大臣官房審議官（統計制度担当）を拝命いたしました山田幸夫です。どうぞよろしくお願いいたします。

10月18日は、「統計の日」です。半世紀もの歴史がある記念日です。なお、「統計の日」を10月18日としていますのは、我が国で最初の近代的生産統計である「府県物産表」に関する太政官布告が明治3年（1870年）9月24日に公布されたことに由来し、この日を現在の太陽暦に換算して10月18日としているものです。

「統計の日」を迎えるに当たって、総務省政策統括官（統計制度担当）では、各府省、地方公共団体等と連携し、国民の皆様に統計の重要性をアピールし、統計調査への御協力を働き掛けるための行事を実施しています。

その一つが、「統計の日」の標語を入れたポスターです。本年は、標語に約1万件もの御応募を頂きました。その中から、特選には、福島県いわき市の小学生の作品、「今を知り　未来つくろう　統計パワー」が選ばれました。「統計」と「パワー」という全く別の意味を持つ言葉を一つにした「統計パワー」という新しい表現は、印象的で力強く、あらゆる世代に親しまれるものと思っています。また、ポスターデザインについても、明るく親しみやすいものに仕上がりました。このポスターを活用して、少しでも「統計」を身近に感じていただけるよう、広報活動に取り組んでまいります。ポスターや「統計の日」関連行事に係る情報については本紙7ページで御紹介していますので、御覧いただければ幸いです。

これらの「統計の日」を中心とした各種行事の実施を通じて、統計の重要性に対する国民の皆様の関心と理解を深め、統計調査に対する御協力を得ていきたいと考えています。統計調査の最前線で御活躍されている統計調査員の皆様、また、都道府県等関係者の皆様には、本年も「統計の日」の関連諸行事について御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

目　次

「統計の日」（10月18日）を迎えるに当たって……1
令和7年国勢調査の円滑な実施に向けて（その3）
－令和7年国勢調査における広報キャラクターの決定－……2
令和6年全国家計構造調査について～令和元年調査結果から～…3
小売物価統計調査（構造編）2023年（令和5年）結果の概要……4
「❸つの調査で、くらしをよりよく」～毎月、実施しています～……5
「令和6年度統計指導者講習会（中央研修）」を開催しました……6
10月18日は「統計の日」、関連行事の紹介……7
令和6年度総務省こども霞が関見学デーに参加しました！
／こども霞が関見学デー オンラインイベント
『わくわく！統計アカデミー for KIDS 2024』を開催しました！…8
こどもが統計について学習できるサイト
『宇宙統計ステーションNARUHODO』を公開しました！
／「統計ヘッドライン－統計局月次レポート－」を御活用ください！…9

令和７年国勢調査の円滑な実施に向けて（その３）
－令和７年国勢調査における広報キャラクターの決定－

総務省統計局では、令和7年国勢調査の円滑な実施に向けて様々な準備を進めており、7月号では広報･協力依頼の主なポイントについて御紹介しました。
今回は、令和7年国勢調査における広報キャラクターの決定、「国勢調査2025キャンペーンサイト」の開設、そして国勢調査員の募集に向けた広報について御紹介します。

１　令和７年国勢調査における広報キャラクターの決定

令和７年国勢調査における広報キャラクターは、幅広い年代から支持されている国民的タレントのマツケンこと、松平健さんに決定しました。松平健さんには令和６～７年度の２か年にわたって「国勢調査2025キャンペーンサイト」、広報用ポスター、テレビCM、ラジオＣM、インターネット広告、SNS、PRイベントなどに登場していただき、調査について幅広くPRしていただきます。

また、令和７年度からは松平健さんのほかに、著名なタレント数名も広報キャラクターとして登場し、調査実施年度における広報活動を盛り上げていただく予定です。今後も国勢調査の広報活動に御期待ください！

２　「国勢調査2025キャンペーンサイト」の開設

令和６年９月３日から「国勢調査2025キャンペーンサイト」を開設しています。キャンペーンサイトには、国勢調査の概要や国勢調査員の募集についての御案内などを掲載しており、順次、コンテンツを拡充する予定です。皆様もぜひ、「国勢調査2025キャンペーンサイト」にアクセスしてみてください。

国勢調査2025キャンペーンサイト　http://www.kokusei2025.go.jp/　国勢調査2025　検索

３　国勢調査員の募集に向けた広報の開始

令和７年国勢調査の実施にあたり、「国勢調査員」として御活躍いただける方を広く募集するため、「国勢調査2025キャンペーンサイト」において「国勢調査員の募集」に関するコンテンツを掲載しています。国勢調査員の活動に御関心のある方がいらっしゃいましたら、ぜひ御覧ください。

（国勢調査2025キャンペーンサイト（スマートフォン）　左：ホーム画面　右：「国勢調査員の募集」ページ）

令和6年全国家計構造調査について～令和元年調査結果から～

本年10月から11月にかけて実施する「令和６年全国家計構造調査」については、調査活動が本格化しています。７月号では、本調査の広報活動について御紹介しましたが、今回は、調査によって得られる集計結果について、前回調査の令和元年（2019年）結果を用いて、いくつか御紹介します。

１　金融資産は60歳代の世帯でピークに

本調査においては、世帯の年間収入や貯蓄等を調査します。これにより、例えば、世帯主の年代別に、金融資産残高と金融負債残高について把握することができます。

令和元年調査結果では、金融資産残高は「60歳代」でピークとなっている一方で、金融負債残高は「40歳代」でピークとなっており、金融資産残高と金融負債残高でピークの年代に違いがみられました。（図１）

また、金融資産残高の構成比をみると、全ての年齢階級で「預貯金」の割合が最も高く、「30歳未満」では78.4%と特に高いです。「50歳代」では、「預貯金」の割合が55.9%と他の年代と比べて低い一方で、「生命保険など」の割合が他の年代と比べて高くなるなど、年齢階級ごとの違いがみられます。（図２）

図１　世帯主の年齢階級別金融資産残高と金融負債残高（総世帯）

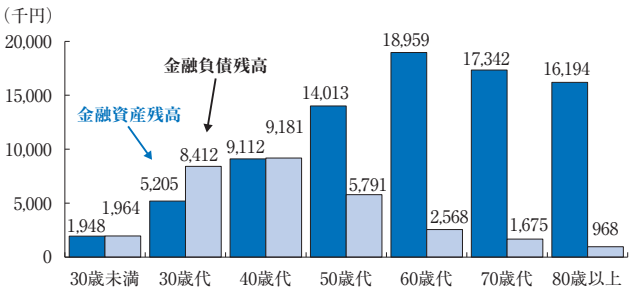
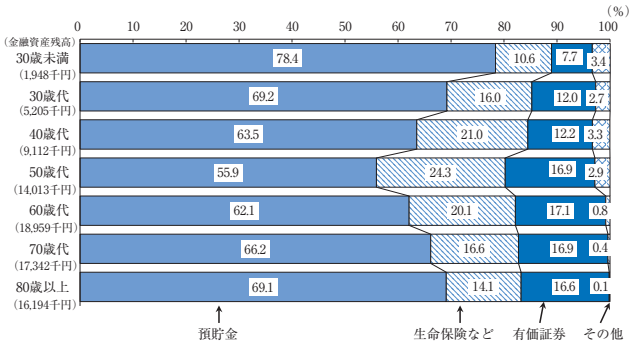


図２　世帯主の年齢階級別金融資産残高の構成比（総世帯）



※金融資産（負債）残高は、金融資産（負債）を保有していない世帯を含む平均

２　「食料（外食を除く）」の購入先でコンビニの割合が特に高いのは「30歳未満」

本調査においては、買い物をした購入先（店舗形態）も調査します。これにより、例えば、世帯主の年代別に、「食料（外食を除く）」の購入先の割合について把握することができます。

令和元年調査結果では、全ての年齢階級で「スーパー」が約６割と最も高くなっています。また、「コンビニエンスストア」の割合は、年齢階級が低くなるに従って高くなっており、30歳未満は16.8％と特に高く、平均と比べて３倍弱の水準となっています。（表１）

表１　世帯主の年齢階級別「食料（外食を除く）」の購入先別割合（総世帯）

（%）

購入先	平均	30歳未満	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
一般小売店	11.6	13.5	13.4	11.7	10.8	11.0	11.1	12.1
スーパー	61.0	55.1	58.9	61.2	62.0	61.7	62.1	59.4
コンビニエンスストア	**6.0**	**16.8**	**10.2**	**7.8**	**7.0**	**4.1**	**3.0**	**2.7**
百貨店	3.2	1.3	1.9	2.3	2.7	3.4	4.0	5.1
生協・購買	5.8	1.1	2.5	4.7	5.2	6.2	7.9	8.7
ディスカウントストア・量販専門店	5.3	4.4	6.3	6.6	6.1	5.5	3.9	3.2
通信販売（インターネット）	1.2	1.3	1.7	1.7	1.4	1.3	0.6	0.6
通信販売（その他）	1.0	0.2	0.3	0.4	0.6	1.0	1.7	2.1
その他	5.1	6.3	4.8	3.6	4.1	5.7	5.8	6.2

小売物価統計調査（構造編）2023年（令和5年）結果の概要

地域別の物価を明らかにすることを目的とし、小売物価統計調査（構造編）において、消費者物価地域差指数を作成しています。この度、2023年結果を６月28日に公表しましたので、その概要を紹介します。

1　都道府県別の物価水準（総合）

2023年（令和５年）平均消費者物価地域差指数（全国平均＝100）の「総合」を都道府県別にみると、東京都が104.5と最も高く、次いで神奈川県（103.1）、北海道（101.7）などとなっています。

一方、最も低いのは鹿児島県（95.9）で、次いで宮崎県（96.1）、群馬県（96.4）などとなっています。

物価水準の都道府県間比率(注)をみると、1.09倍（＝東京都÷鹿児島県）となっています。また、指数が100以上の都道府県の数は９都道府県となっており、そのうち４都県（埼玉県、千葉県、東京都及び神奈川県）が南関東の地域となっています。

（表１-１、表１-２、図１）

（注）都道府県間比率 ＝ 最も高い都道府県の指数 ／ 最も低い都道府県の指数

表１-１　都道府県別の物価水準（総合）上位及び下位３都道府県

（全国平均＝100）

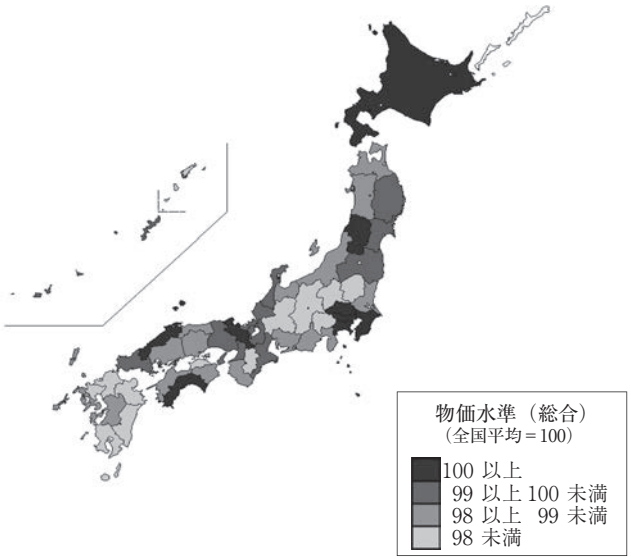
順位	都道府県	指数	順位	都道府県	指数
1	東京都	104.5	47	鹿児島県	95.9
2	神奈川県	103.1	46	宮崎県	96.1
3	北海道	101.7	45	群馬県	96.4

表１-２　都道府県別物価水準（総合）の推移

（全国平均＝100）

		2020年	2021年	2022年	2023年
指数	最も高い	105.2	104.5	104.7	104.5
	最も低い	95.9	96.2	96.1	95.9
	都道府県間比率	1.10	1.09	1.09	1.09
都道府県	最も高い	東京都	東京都	東京都	東京都
	最も低い	宮崎県	宮崎県	宮崎県	鹿児島県
指数が100以上の都道府県の数		8	10	7	9

図１　都道府県別の物価水準（総合）



2　10大費目別の物価水準

10大費目別に物価水準の都道府県間比率をみると、「住居」（東京都（127.2）の石川県（81.2）に対する比率）及び「教育」（和歌山県（122.8）の富山県（78.1）に対する比率）が、1.57倍と最も高くなっています。

一方、都道府県間比率が最も低い費目は「保健医療」（高知県（102.1）の宮崎県（96.8）に対する比率）及び「交通・通信」（東京都（102.9）の岡山県（97.6）に対する比率）で、1.05倍となっています。

（表２）

表２　10大費目別都道府県間比率

（全国平均＝100）

10大費目	指数（2023年）				都道府県間比率		
	最も高い都道府県		最も低い都道府県		2023年	2022年	差（2023年−2022年）
総合	東京都	104.5	鹿児島県	95.9	1.09	1.09	0.00
食料	沖縄県	106.4	長野県	95.9	1.11	1.10	0.01
住居	東京都	127.2	石川県	81.2	1.57	1.60	−0.03
光熱・水道	北海道	118.3	大阪府	88.0	1.34	1.27	0.07
家具・家事用品	香川県	104.7	沖縄県	93.6	1.12	1.12	0.00
被服及び履物	石川県	113.1	鹿児島県	88.9	1.27	1.18	0.09
保健医療	高知県	102.1	宮崎県	96.8	1.05	1.06	−0.01
交通・通信	東京都	102.9	岡山県	97.6	1.05	1.05	0.00
教育	和歌山県	122.8	富山県	78.1	1.57	1.58	−0.01
教養娯楽	東京都	105.9	宮崎県	91.5	1.16	1.14	0.02
諸雑費	神奈川県	105.6	沖縄県	91.3	1.16	1.15	0.01

小売物価統計調査（構造編）
https://www.stat.go.jp/data/kouri/kouzou/index.html
2023年（令和５年）結果
https://www.stat.go.jp/data/kouri/kouzou/gaiyou.html

「❸つの調査で、くらしをよりよく」
～毎月、実施しています～

総務省統計局では、毎年10月に労働力調査、家計調査及び小売物価統計調査の３つの統計調査を広く周知するための広報を行っています。

この広報のナビゲーターを務めるのは、総務省統計局イメージキャラクターであるセンサスくんとみらいちゃんです。

今年度は『❸つの調査で、くらしをよりよく』をテーマに、新聞やインターネット広告を中心に統計調査の重要性を伝えていきます。

また、幅広い世代が利用するコンビニエンスストア、スーパーマーケットや飲食チェーンでのデジタル広告を活用し、より多くの方々に３つの調査を知ってもらえるよう、センサスくんとみらいちゃんが積極的にPRします。

【主な広報内容】

媒体等	内　容
新聞広告	読売新聞 ・全国版朝刊（令和６年10月計２回掲載）
インターネット広告	バナー（静止画）広告 ・Geniee（DSP広告）、SmartNews 動画広告 ・YouTube、TVer
コンビニエンスストア広告	ローソン ・レジ液晶POP（静止画広告）
スーパーマーケット広告	DELISH KITCHEN<デリッシュキッチン> ・ストアビジョンデジタルサイネージ（店頭動画広告）※　※ 機器設置スーパーマーケットチェーン
飲食チェーン広告	スシロー ・デジタルサイネージ（待合スペース動画広告）
統計局ホームページ	３つの統計調査の概要及び紹介 ・統計調査紹介ムービー（YouTube統計局チャンネルへのリンク） ・SNSでおなじみのアバターと吹き出しを用いて、幅広い世代の関心にデータで答える
YouTube 統計局チャンネル	センサスくん、みらいちゃんが調査結果を紹介し、調査の回答を呼びかける ・動画（15秒及び30秒）

詳しくは統計局ホームページ　https://www.stat.go.jp/info/kouhou/keijyou.html を御覧ください。

「令和6年度統計指導者講習会（中央研修）」を開催しました

～統計指導者講習会とは～
総務省統計研究研修所では、小・中・高等学校教育の各段階における児童及び生徒に対する統計リテラシーを重視した統計教育の充実を図るため、統計指導に携わる教育関係者等を対象に「統計指導者講習会（中央研修）」を開催しています。

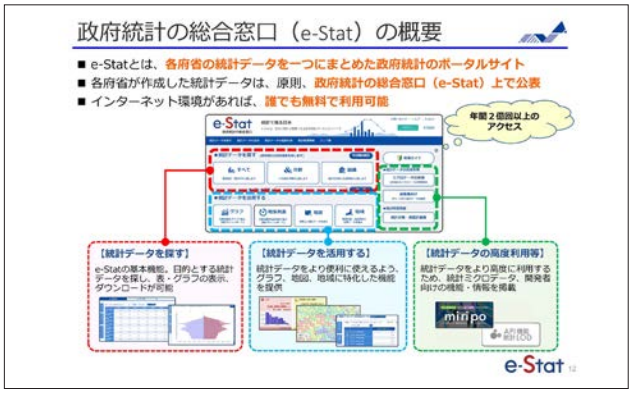
本年度の統計指導者講習会（中央研修）は、令和６年７月25日（木）に、ライブ配信にて開催しました。全国から実際に統計指導に携わる小・中学校及び高等学校の教諭等の方々に御参加いただきました。

＜講習会の内容＞

○講義：授業で使えるオープンデータの使い方
（講師：総務省統計局統計情報システム管理官主査　大瀬　寛彰　氏）

本講習会では、実際の授業づくりの際に役に立つオープンデータの使い方について解説しました。

各府省が公表する統計を収録した「e-Stat（政府統計の総合窓口）」に収録されているデータの種類やその探し方（分野別検索、キーワード検索、データベース機能など）のほか、便利な機能として「統計ダッシュボード」を用いたグラフの作成方法を解説しました。また、地域（都道府県・市区町村）別に各種データが収録されている「社会・人口統計体系（SSDS）」を用いた地域別ランキングの表示方法、類似した地域間での比較方法や、「地図で見る統計（jSTATMAP）」を用いた統計グラフの作成方法等について紹介しました。



（講義資料より）

○講義：新学習指導要領が目指す情報活用力
（講師：立正大学データサイエンス学部教授　渡辺　美智子　氏）

新学習指導要領において求められる統計教育、統計的思考（科学的探求）力の重要性について、講義していただきました。

近年の人口知能（AI）の飛躍的進化により、雇用の在り方や学校教育において獲得する知識の意味も大きく変化しているといわれています。そのような中で、統計のリテラシー教育として、「数理・データサイエンス・AI」に関する基礎的な知識の習得に向けて、初等中等教育、高等教育、リカレント教育（社会人の再教育）の各段階において長期的に取り組むことが必要とされています。

本講習会では、課題の設定、必要なデータの収集・分析、分析結果を踏まえた課題解決を行う統計的思考力に関して、メジャーリーグにおいて本塁打の確率を高める打球の条件に関する分析として実際に使用されている事例（バレルの法則）などを解説していただきました。

○講義：統計・データサイエンス力向上のための授業に係る優秀事例紹介
（講師：宮崎県国富町立森永小学校教頭　開地　和代　氏
国立大学法人鳴門教育大学准教授　藤原　大樹　氏
千葉県立匝瑳高等学校教頭　梶原　昌朗　氏）

（公財）統計情報研究開発センターが実施している「統計・データサイエンス力向上のための授業に係る優秀事例表彰」において、小・中・高等学校の各部門で実際に受賞された先生方から、授業事例の内容を解説いただきました。

○班別討議：統計データを用いた学習指導案の作成

最後に、班別討議を実施し、児童及び生徒に何を学んでもらうか、どのような力を養ってもらいたいかを踏まえた上で、授業の目標を設定し、どのような統計データを用いて授業を展開していくのか具体的な学習指導案について討議しました。

討議終了後は、班ごとに学習指導案を発表して受講者全員で共有するとともに、渡辺教授及び優秀事例を御紹介いただいた先生方から指導・助言をいただき、今後の授業の実践に当たって工夫すべき点や指導方法等について理解を深めました。

本講習会では、教育現場ですぐに実践できる内容や、今後の統計教育に必要な情報の活用方法について講義いただきました。今後とも都道府県、関係府省、教育関係団体等と連携・協力し、引き続き研修の拡充や充実を図りたいと考えています。今回の講習会が、今後の統計教育の実践の一助となることを期待しています。

〈問合せ先〉
総務省統計研究研修所管理・研修部研修企画課
TEL　042-320-5874
E-mail　o-kenkikaku@soumu.go.jp

10月18日は「統計の日」、関連行事の紹介

10月18日は「統計の日」です。

総務省政策統括官（統計制度担当）では、各府省、地方公共団体等と連携し、この「統計の日」を中心として、国民の皆様に統計の重要性をアピールし、統計調査への御協力を働きかけるための行事を実施していますので、御紹介します。

令和６年度「統計の日」ポスター

「統計の日」の周知を図り、統計への関心を深めてもらうためポスターを作成し、全国に配布しています。今年度は、約８万枚作成し、各府省や都道府県等に御協力をいただき、庁舎や公民館等の公共施設や、小中高等学校に掲示します。

また、毎年行っている「統計の日」標語の募集において、全国から応募いただいた標語9,980作品の中から特選に選ばれた福島県いわき市立赤井小学校６年　矢野　武さんの作品「今を知り　未来つくろう　統計パワー」をポスターに活用しています。

この「統計の日」のポスターのデザインや特選・佳作に選ばれた標語は、各府省や地方公共団体等において、統計や統計調査に係る知識の普及を目的とした広報物、刊行物等に活用されるほか、業務で使用する封筒等にも印刷されるなど、幅広く活用される予定です。

令和６年度「統計の日」ポスター

統計データ・グラフフェア

令和６年（2024年）10月19日（土）～20日（日）、東京都新宿区の「新宿駅西口広場イベントコーナー」において統計データ・グラフフェアを開催します。

統計データ・グラフフェアでは、統計グラフ全国コンクールの入賞作品や、関係省の統計調査に関する資料の展示、都道府県による統計データを用いた企画資料の展示のほか、令和７年国勢調査の紹介コーナーや、統計関連コンテンツの体験コーナーを設け、統計の面白さを感じていただけるイベントを開催します。是非、お立ち寄りください。

第72回全国統計大会

令和６年12月４日（水）、国立オリンピック記念青少年総合センター　カルチャー棟大ホール（東京都渋谷区）において、第72回全国統計大会を開催します。

全国統計大会は、国、地方公共団体、統計関係団体などの統計関係者が一堂に会し、統計功労者への各省大臣表彰、「統計の日」標語の特選受賞者への表彰、統計グラフ全国コンクール特選受賞者への表彰を行うとともに、公的統計データを利活用し優れた取組を進める地方公共団体に対する表彰「地方公共団体における統計データ利活用表彰」及び、統計データを分析し優れたアイデアと分析力を競う「統計データ分析コンペティション」における優秀作品への表彰を行います。

第72回統計グラフ全国コンクール入賞作品の展示会

上記の第72回全国統計大会では、第72回統計グラフ全国コンクール入賞作品の展示会を、会場ロビーにて行う予定としています。小中学生から一般の方まで、広く応募いただいた中から入選された、工夫を凝らした素晴らしい作品を御覧いただけます。

地方公共団体主催の行事

≪地方統計大会・統計功労者表彰式≫

例年、都道府県では、地方統計大会や統計功労者表彰式を開催し、統計功労者等の表彰、講演会等を実施しています。

≪統計グラフコンクール入賞作品展示会≫

例年、都道府県では、統計グラフコンクール入賞作品の展示会を開催しています。

詳細につきましては、都道府県にお問い合わせください。

令和6年度「統計の日」（10月18日）関連行事の紹介は、総務省政策統括官室のホームページで、随時掲載していきます。

https://www.soumu.go.jp/toukei_toukatsu/info/guide/r6toukeinohi_kanren.html

令和6年度総務省こども霞が関見学デーに参加しました!

８月７日（水）及び８日（木）に令和６年度総務省こども霞が関見学デーが開催され、統計局は「なるほど統計学園に体験入学しよう！」ブースを出展しました。

８月７日（水）及び８日（木）に令和６年度総務省こども霞が関見学デーが開催され、統計局は「なるほど統計学園に体験入学しよう！」ブースを出展し、両日で約340名のこどもたちに来場いただきました。

当日のブースの様子

ブースに来場したこどもたち全員に参加いただいた「統計調査員になろう！」コーナーでは、こどもたちが同行者に夏祭りで一番食べたいものを調査して、該当部分にシールを貼ることで、参加者みんなで棒グラフを作成しました。両日とも33℃を超える暑さだったためか、「かき氷」の人気が非常に高く、圧倒的な高さの棒グラフが出来上がりました。

また、自分の身長と靴のサイズの交差した箇所にシールを貼ることで、みんなで散布図を作成しました。

みんなで作成した棒グラフ・散布図

その他、宇宙統計ステーションNARUHODOの体験、グラフの間違い探し、センサスくん・みらいちゃんの間違い探し、みらいちゃん折り紙など、様々な出し物を用意し、クイズや工作を楽しんでいただきました。会場にはセンサスくんとみらいちゃんも登場し、こどもたちは大喜びでした。

ブースに来場したこどもたちには「こども統計調査員認定証」を授与し、センサスくんとみらいちゃんのスタンプを押すなど最後まで楽しんでいただきました。

こども霞が関見学デー オンラインイベント『わくわく!統計アカデミー for KIDS 2024』を開催しました!

「こども霞が関見学デー」のプログラムの一つとして、統計局では小学校５・６年生を対象とした『わくわく！統計アカデミー for KIDS 2024』をオンラインで開催しました。

統計局では、８月20日（火）及び22日（木）に、統計を身近に感じていただくことを目的として、小学校５・６年生対象の『わくわく！統計アカデミー for KIDS 2024』をオンライン開催し、両日で約40名のこどもたちに参加いただきました。

参加したこどもたちは、身の回りの様々な事象を題材に、統計学の基礎となる平均値・中央値などの代表値やグラフの書き方と注意点などを学びました。

また、小・中学生向け統計検索サイト「キッズすたっと～探そう統計データ～」を使用し、日本全体やこどもたちそれぞれが住んでいる都道府県のダンス場の数を調べる体験をしたほか、最後はグループワークを実施し、こどもたちがそれぞれ調べたダンス場の数を使ってグラフを作成してみるなど、様々な視点から統計に触れました。

参加したこどもたちからは、「自分の住んでいる場所以外のお友達と一緒にお勉強できて、楽しかった」、「キッズすたっとの操作に最初はとまどったが、慣れるといろいろなデータを調べてみようと思った」などのコメントが寄せられ、多くの方に統計を身近に感じてもらうきっかけとなりました。

当日のイベントの様子

今回のイベントで用いた教材等は、後日統計局ホームページ内の児童・生徒向け学習サイト「なるほど統計学園」に掲載する予定です。

「なるほど統計学園」はこちらから
https://www.stat.go.jp/naruhodo/

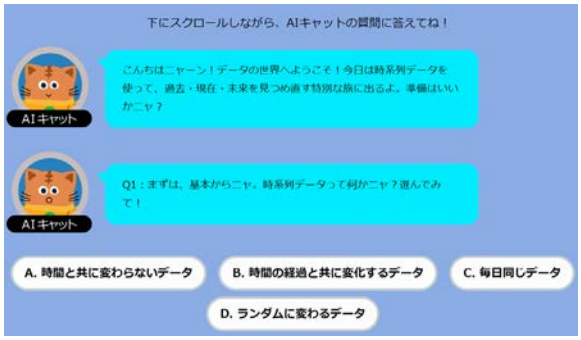
こどもが統計について学習できるサイト『宇宙統計ステーションNARUHODO』を公開しました!

統計局では、統計学習サイトの拡充を図る観点から、この度、小・中学生がデータを探求的に学べるウェブサイト「宇宙統計ステーションNARUHODO」を公開しましたので、御紹介します。

「宇宙統計ステーションNARUHODO」は、統計の見方やグラフの作り方などについて、イラストや図表を活用し、こどもたちが１人だけでも楽しく継続的に学習・閲覧できることに主眼を置いた統計学習のためのウェブサイトです。

動画やクイズ、チャット風のインタラクション、ゲームなど、こどもたちが楽しめるコンテンツを充実させることで、統計学習をより効果的に進めることができます。

具体的には、統計の基礎知識や統計グラフの特徴などを、動画やチャット風のインタラクションを使って分かりやすく解説したり、ゲームをしながら統計に関係する用語を学習したりできるようにしています。また、閲覧したページに応じてバッジを取得することにより、学習進捗状況を可視化できるようにしています。これにより、こどもたちが自分の学習具合を実感し、モチベーションを維持することができる作りとしています。



▲チャット風のインタラクションを使用し、クイズに答えながら学習する構成にしています。

是非、小・中学生の統計学習に御活用いただければ幸いです。

「宇宙統計ステーションNARUHODO」はこちらから
https://www.stat.go.jp/naruhodokids/

「統計ヘッドライン－統計局月次レポート－」を御活用ください！

総務省統計局では、毎月公表する調査結果（労働力調査、消費者物価指数、家計調査など）を始め、統計局が所管する統計の最新の動きがひと目で分かるレポートとして、「統計ヘッドライン－統計局月次レポート－」を統計局ホームページから毎月発信しています。結果のポイント解説、主要統計の時系列データ、公表予定などを掲載していますので、統計局の最新情報としてお役立てください。

＜毎月の主要指標＞

毎月公表する労働力調査、消費者物価指数及び家計調査の結果の中から、完全失業率、消費者物価指数、世帯の消費支出などの動きがひと目で分かる時系列グラフを掲載しています。

＜結果のポイント解説＞

毎月公表している各調査の結果について、ポイントを絞って解説しています。各調査の特徴的なデータをグラフなどで確認できます。

＜主要統計時系列データ＞

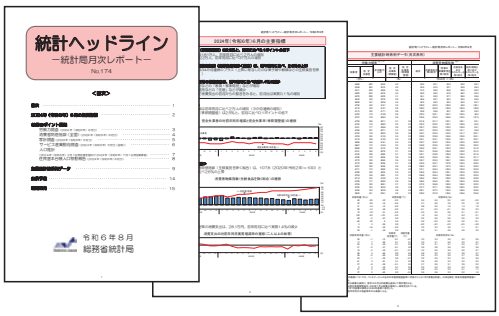
各調査の主要項目を時系列にして掲載しています。最新のデータだけではなく過去のデータも確認できます。

＜公表予定＞

翌月までの公表予定を掲載しています。気になる統計データの公表予定を確認できます。

＜利用案内＞

各調査・統計に関するURLを掲載しています。当レポートを御覧いただき、更に詳細な結果をお知りになりたい場合に御利用ください。



「統計ヘッドライン－統計局月次レポート－」については、次のURLを御参照ください。
https://www.stat.go.jp/info/headline/index.html

最近の数字

		人口	労働・賃金			産業		家計（二人以上の世帯）		物価	
		総人口（推計による人口）	就業者数	完全失業率（季節調整値）	現金給与総額（規模5人以上）	鉱工業生産指数（季節調整値）	サービス産業の月間売上高	1世帯当たり消費支出	1世帯当たり可処分所得（うち勤労者世帯）	消費者物価指数	
										全国	東京都区部
		千人（Pは万人）	万人	%	円	2020＝100	兆円	円	円	2020＝100	2020＝100
実数	2024. 3	124003	6726	2.6	302,060	101.7	39.9	318,713	419,572	107.2	107.1
	4	P 12400	6750	2.6	295,709	100.8	P 32.8	313,300	453,011	107.7	107.0
	5	P 12393	6766	2.6	297,162	104.4	P 32.5	290,328	376,084	108.1	107.4
	6	P 12389	6822	2.5	498,887	100.0	P 33.9	280,888	813,616	108.2	107.5
	7	P 12396	6795	2.7	P 403,490	P 102.8	…	290,931	568,191	108.6	107.8
	8	P 12385	…	…	…	…	…	…	…	…	P 108.4
			%	ポイント	%	%	%	%	%	%	%
前年同月比	2024. 3	−	0.4	＊ 0.0	1.0	＊ 4.4	1.2	−1.2	−0.1	2.7	2.6
	4	−	0.1	＊ 0.0	1.6	＊ −0.9	P 3.2	0.5	−2.6	2.5	1.8
	5	−	0.3	＊ 0.0	2.0	＊ 3.6	P 3.2	−1.8	5.3	2.8	2.2
	6	−	0.5	＊ −0.1	4.5	＊ −4.2	P 2.3	−1.4	8.5	2.8	2.3
	7	−	0.3	＊ 0.2	P 3.6	＊P 2.8	−	0.1	7.3	2.8	2.2

（注）P：速報値　＊：対前月
家計（二人以上の世帯）の前年同月比は実質値

掲示板　統計関係の主要日程（2024年9月～2024年10月）

≪会議及び研修関係等≫

時期	概要	時期	概要
9月4日	オンライン統計研修【第2回】統計取扱業務担当職員向け研修「統計担当者向け入門」開講（～10月1日）	9月4日	オンライン統計研修【第2回】データ利活用コース「誰でも使える統計オープンデータ」開講（～10月1日）
〃	オンライン統計研修【第2回】統計実務職員（統計データアナリスト補）研修「統計分析の基本」開講（～10月1日）	10日	管理者向けコース「統計幹部講座」開講【ライブ配信】
〃	オンライン統計研修【第2回】統計データアナリスト研修「統計データアナリスト研修」開講（～10月1日）	27日	都道府県職員向けコース「統計データアナライズセミナー」開講【ライブ配信】
〃	オンライン統計研修【第2回】データ利活用コース「データサイエンス演習」開講（～10月1日）	10月1日	統計データアナリスト研修「本科（総合課程）」開講【集合】（～12月3日）

≪調査結果の公表関係≫

時期	概要	時期	概要
9月6日	家計調査（家計収支編：2024年7月分）公表	10月8日	消費動向指数（CTI）2024年8月分公表
〃	家計消費状況調査（支出関連項目：2024年7月分）公表	18日	消費者物価指数（全国：2024年9月分）公表
〃	消費動向指数（CTI）2024年7月分公表	〃	小売物価統計調査（全国：2024年9月分）公表
〃	小売物価統計調査（ガソリン）2024年8月分公表	21日	人口推計（2024年5月1日現在確定値及び2024年10月1日現在概算値）公表
15日	統計トピックス「統計からみた我が国の高齢者−「敬老の日」にちなんで−」公表	25日	消費者物価指数（東京都区部：2024年10月分（中旬速報値））公表
20日	消費者物価指数（全国：2024年8月分）公表	〃	小売物価統計調査（東京都区部：2024年10月分）公表
〃	小売物価統計調査（全国：2024年8月分）公表	〃	家計調査（貯蓄・負債編：2024年4～6月期平均）公表
〃	人口推計（2024年4月1日現在確定値及び2024年9月1日現在概算値）公表	〃	住民基本台帳人口移動報告（2024年9月分）公表
〃	「Statistical Handbook of Japan 2024　刊行	29日	労働力調査（基本集計）2024年9月分及び7～9月期平均公表
25日	令和5年住宅・土地統計調査（住宅及び世帯に関する基本集計）公表	31日	サービス産業動向調査（2024年8月分速報及び2024年5月分確報）公表
〃	令和3年経済センサス-活動調査に関する地域メッシュ統計公表	月内	経済構造実態調査（2023年三次集計結果）公表
27日	消費者物価指数（東京都区部：2024年9月分（中旬速報値））公表		
〃	小売物価統計調査（東京都区部：2024年9月分）公表		
〃	住民基本台帳人口移動報告（2024年8月分）公表		
30日	サービス産業動向調査（2024年7月分速報及び2024年4月分確報）公表		
10月1日	労働力調査（基本集計）2024年8月分公表		
4日	小売物価統計調査（ガソリン）2024年9月分公表		
8日	家計調査（家計収支編：2024年8月分）公表		
〃	家計消費状況調査（支出関連項目：2024年8月分）公表		

編集発行　総務省統計局
〒162－8668　東京都新宿区若松町19－1
総務省統計局 統計情報利用推進課 情報提供第一係
TEL 03−5273−1160　E-mail y-teikyou1@soumu.go.jp
ホームページ　https://www.stat.go.jp/
御意見・御感想をお待ちしております。

印刷用の紙にリサイクルできます。